

季刊

唯物論研究協会編集

思想と現代

1986

6号

特集 ● 教育の現在

教育における
平等と能力の問題をめぐる

国民のための大学教育……………

吉崎祥司

〔座談会〕

第三世界の教育運動と思想……………

堀 孝彦

「臨教審」をめぐる思想の問題……………

柿沼秀雄

田中喜美子 / 道家達将 / 山科三郎

〔レポート〕

あぁ、PTA……………浅野富美枝 / 中学校現場

の多忙化と管理強化……………塩貝光生 / 体罰容

認意識批判……………神田光啓 / 自主性教育勝利

場からのいじめ……………久田健吉 / 予備校の現

教育……………依田有弘

・労働・技術

白石書店

50人の父母と教師がつづる教育への熱い思い

いま学校と教師に問われるもの

大槻 健編
浜林正夫

子どもの教育を学校にたくす親の願いと学校への率直な意見、教育の現場で教育環境の改善や非行の克服に日夜奮闘している教師の発言など、50人におよぶ全国の父母・教師からの教育改革への提言。ここには、子どもの可能性をひきだし、親と教師が生きたいとする、たくさんのドラマがおりこまれている。46判・1300円

- 内容
- I 教育への願い
 - II 親たちの熱い思い
 - III 教育の現場はいま
 - IV 教育者として人間として
 - V 学校づくりさまざま

教育費を見直す

柳ヶ瀬孝三 編著
三上和夫

教育改革への一視点

限界に達しつつある教育費の家計負担。顕者になる教育の経済的階層化。教育改革が国民レベルで問われている今、教育費問題の分析を通して斬新な問題提起を行う。46判・2000円

東京都文京区本郷2-11-9 大月書店 電話03(813)4651<代表>

白石書店 東京都千代田区神田神保町1-28
☎03(291)7601 振替東京2-16824

戦後思想の再検討

東京唯物論研究会編

人間と文化篇

定価二五〇〇円 千250

思想の戦後史をどうとらえるか——高田 求／論理学論争について——仲本章夫／戦後思想の人間論——吉田正岳／文化運動と高度経済成長——佐藤和夫／戦後思想の方法と文学——山根 猷

政治と社会篇

定価二四〇〇円 千250

戦後四〇年の思想——芝田進午／大衆社会論争——後藤道夫／戦後民主主義の現在——吉崎祥司／「脱産業化社会」の夢と現実——石井伸男／批判的視角からみた技術の論理——鳥居廣

民衆の側からの戦後思想を総括、再検討し、歴史的歧路に立つ現代日本の指針を探る。